

今回(2026 年上演)の予定登場人物

(下記台本は 2024 年上演時の台本です)

★山田遥(女性・21)・・・主人公、香織の手で育てられた、母は生まれてすぐに亡くなったと伝えられている

☆宮本香織(女性・27)・・・遥の育ての母で、2005 年は富士見町が誇るロケット設計士

★濱田美優姫(女性・17)・・・この物語のキーマン、弥生の娘 ※宣伝時は役名の名字を隠す

☆倉知桜(女性・27)・・・遥の本当の母

★相良陸斗(男性・21)・・・幼馴染 4 人のまとめ役キャラ

★田崎百愛(女性・21)・・・幼馴染 4 人の好奇心旺盛キャラ

★渡瀬虎鳳輝(男性・21)・・・幼馴染 4 人の臆病キャラ

★山田渚(女性・17)・・・遥の血のつながっていない妹

☆宮本雄大(男性・31)・・・香織の兄で、舞台となる喫茶店の店主

☆相良百合(女性・27)・・・百愛の母、タイムリープ時は陸斗を妊娠中

☆渡瀬響子(女性・27)・・・百愛の母、タイムリープ時は虎鳳輝を妊娠中

☆松尾純子(女性・27)・・・百愛の母、タイムリープ時は未婚

☆荒金良子(女性・41)・・・富士見町の町長

☆濱田弥生(女性・32)・・・政治家・濱田卓三の妻

★2026 年を生きるキャラクター

☆2005 年を生きるキャラクター

第1場

幕前の音楽が落ちていくと、激しい音がする。
すぐに明かりが入る。

遥、陸斗、百愛、虎鳳輝の4人が立っている。

陸斗 何、今の？

3人 …。

陸斗 何が起こったの？

百愛 何か、すごい音がしたけど。

虎鳳輝 うん。

4人、周りを見て。

百愛 ここ、遥のお母さんと雄大おじさんのお店だね？

遥 うん。

百愛 なんで、ここにいの？だって、私たち、駅前のカフェにいたよね？それで、就職活動の話してて。

陸斗 それで、百愛と虎鳳輝がけんかになって。

百愛 そこに陸斗が止めに入ってきて。…あ！

虎鳳輝 …。

二人、離れる。

陸斗 まあ、いいじゃん。俺たちはおじさんに挨拶して、帰ろう。

百愛 そうだね。そうしよう。

4人、中に入ろうとするが、すぐに戻ってきて。

4人 (口々に) いやいやいやいや。

陸斗 おかしいよ。カウンター、こんなところじゃない。カウ

ンターは…ここだよ。

遥 (うなづく) …。

陸斗 あと、木じゃないよ。セラミックだよ。椅子も。軸が

細長い、バーチェアだよ。

遥 (うなづく) …。

百愛、奥で何かに気づいて。

百愛 ちょっとこれ。

3人、百愛に寄る。

百愛 このポスター。新し、すぎるよね。もっと色あせてて

、端っこも破れてる。

虎鳳輝 この張り紙も。もっと古いよね。もっと汚れてる。

陸斗 これ。

3人、陸斗に寄って。

百愛 GLAY？浜崎あゆみ？宇多田ヒカル？

陸斗 なんで、こんな古いの、張ってあんの？宇多田ヒカル、

超若いし。21世紀最初の大音楽祭とか書いてるし。

遥が奥で何かを発見して。

遥　ちよつと。これ。

3人、見る。

3人　（口々に）フッフッフ。

虎鳳輝　おかしいおかしい。なんで2002年のカレンダー貼ってあんの？だって、今、2024年でしょ？

3人　…。

虎鳳輝　なんで2002年のカレンダーを飾る必要があんの？そもそも、こんな古いカレンダー、どこから持ってきたの？

陸斗　信じたくないよ。信じたくないけど、俺たち、夏休みの初めに、とんでもない所に来てしまったみたい。

3人　…。

4人、一度無言になって。

百愛　タイムスリップ、したってことだね。

虎鳳輝　いやいやいやいや。

百愛　でも、そうじゃない？そうだとしたら、つじつまが合う。

虎鳳輝　いや、そんなことあるわけない！

百愛　…。

虎鳳輝　遥のお母さんと雄大おじさんが、20年前の雰囲気一気にお店を変えたんだよ。俺たちを驚かせるために。それで、どこかに隠しカメラがあって、俺たちの困っ

た様子を見て、大笑いしてるんだよ。

百愛　そんなこと、するかなあ。

虎鳳輝　どこかにカメラがあるはず。それで今まさに、俺たちを見てゲラゲラ笑ってる。そうじゃないと、おかしすぎる。

3人　…。

虎鳳輝　ちよつと、何やってんの？早くカメラ探そう？早く見つけて、早く種明かししてもらおう。

百愛　だから、わざわざそんなことしないって。

虎鳳輝　じゃあ、どうやってタイムスリップしたっていうの？何がどうなって！？説明できる！？

百愛　…。

陸斗　落ち着こう。一回、思い出そう。

4人、また無言になって。

陸斗　俺たちは、夏休みの初めに、高校の時から続けている、

月一の現状報告会を開いた。

3人　…。

陸斗　駅前のカフェで、俺と遥は大学の事、百愛は仕事の事、虎鳳輝のサークルの事、色々な話をしてて、そしたら将来の話になって、虎鳳輝が家を出て東京に行くって話になった。聞いたら、虎鳳輝は、この富士見町が大嫌いだから出ていくって言った。

虎鳳輝　だって、こんな田舎町にいて、つまんなくない？東京に行ったらもっと楽しい毎日が待ってる。

陸斗　そしたら百愛が怒り出して。

百愛　だって、自分が生まれた町に、つまんないとか、そん

虎鳳輝

な言い方、くない？私も陸斗も遥も、この町で仕事して、この町で生きていく方向で考えてんのに！でも、そうじゃん！こんな、何の特徴もない田舎町にいたって、夢くない？この町で仕事して、未来ある！？

百愛

はあ？

虎鳳輝

平均年齢がどんどん上がってる。おじいちゃんおばあちゃんばかりになってくる。人口もどんどん減ってる。俺たちみたいな若い世代が減ってる。それと、この町には、何の産業もない。…この町には未来がない！あんた、何言ってるの！？

陸斗

その話はいいから！

百愛

…。

虎鳳輝

…。

陸斗

それで、百愛が立ち上がって大きな声を出した瞬間、突然大きな音がして。

3人

…。

陸斗

そっからがわかんないんだよ！なんか、地震のような大きな揺れが起こって、気がつく、ここにいて。

3人

…。

陸斗

何が起こったんだろ。

遥、カレンダーをもう一度見て。

遥

2002年7月。

3人

…。

遥

私、この月に生まれたんだよね。

百愛

そうだよ。遥が2002年7月で、虎鳳輝が12月。

遥

陸斗は2003年2月。私が3月。何か、関係あるのかな？

3人

…。

陸斗

わかんないけど、ちよっと、手掛かりになるもの、探しに行かない？

3人

…。

陸斗

もしかしたら何か見つかるかもしれない。そしたらすぐに帰れるかもしれないし。

百愛

そうだね。行ってみよう。

遥

うん。虎鳳輝も行く？

虎鳳輝

はあ！

全員、外に出ようとすると。

百愛

ちよっと。

3人

？

百愛

誰か来る。

虎鳳輝

誰？遥のお母さん？

遥

さあ。

陸斗

ちよっと待って。これ、ヤバくない？

3人

…。

陸斗

俺たちの推測が正しければ、ここの人たちからすると、俺たちは未来から来た人たち。とすると、わかんないけど、ここはとりあえず…（探して、物置を指す）！

3人

…。

陸斗

とりあえず！見つからないように！

虎鳳輝

ええ？

第2場

4人、物置に隠れる。

香織が登場する。

香織
♪♪♪

香織、身なりを整えている様子。
リンリン。百合が登場。

百合
香織！

香織
…。

百合
人工衛星の打ち上げまで、あと15分。

香織
…。

百合
いよいよだね。

香織
うん。

百合
いよいよだね。

香織
うん。

百合
おめでとう！……！！

百合、香織に過剰に抱き着く。

香織
(百合を離して) 百合。…パーティーの準備、手伝ってくれたんだって。

百合
うん。

香織
ご飯も作ってくれたらしいじゃん。

百合
主婦になったし。それぐらいのこと、朝飯前ですよ。

あなた苦労に比べたら。アハハハハ！

…。

女性初のロケット設計士。しかも、日本初の有人宇宙探査機の布石となる人工衛星の設計。そんなすごいことを、あんたがやるなんてね！アハハハハ！

雄大が登場。

雄大
百合。

百合
お兄さん。

雄大
いいか？今日は香織の晴れ舞台だ。来賓の方もいらっ

しやる。粗相のないようにな。

百合
わかってる。…アハハハハ！(香織に絡んで)

香織
(苦笑い) …。

雄大
そののこ言ってるの！お前、本当に大丈夫なんだろうな？

百合
お兄さんだって、クールに決めてるけど、本当ははし

やぎたいくせに。

…。

雄大
はしやぎたいくせに。

百合
そんなことない。

雄大
フフフフ！

百合
フフフフ！

リンリン。響子と純子が登場。

純子
香織！

香織
純子。響子。

純子

見たよ、テレビ。どのチャンネルでもやってる。日本初の有人宇宙探査機の布石となる、人工衛星つばめの打ち上げまでもうすぐ。女性初のロケット設計士が設計を担当。

響子

私、香織がそんなことになってたなんて知らなかった。すごいこと、成し遂げたんだね。

香織

ありがとう。響子。座って。

響子

うん。

響子は妊娠している様子。

香織が介抱して、座らせる。

香織

今、何か月だったけ？

響子

4か月。もうちょっとしたら安定期。

香織

じゃあ、年内にはお母さん。

響子

おかげさまで。

香織

いいなあ。私、全然そういう話ないからなあ。…百合が結婚したり、響子に子供が出来たりって、そっちの方が私は嬉しい。

響子

いやいや、あんたの方がすごいでしょ。

香織

(微笑んで) …。

純子

私も、そんな話、ない。

5人

…。

百合

あんたの話はいいの！

純子

…。

雄大

じゃあ、これからお母さんになる響子に、宇宙開発の事を教えてあげる。おなかの赤ちゃんも聞いているかもしれないしな。

響子

(純子と香織を見てほほ笑む) …。

雄大

日本の宇宙開発ってのは、常に進化してるの。国際社会に貢献するために、ナスダ、宇宙開発事業団、アイサス、宇宙科学研究所、ナル、航空宇宙科学研究所、この3つが、それぞれ計画を立てて、日本の宇宙開発を進めてる。

響子

…。

雄大

今から打ち上げられる人工衛星は、ナスダの依頼を受けて、民間の製造会社が製造した。人工衛星みたいなロケットだけじゃなくて、飛行機とかヘリコプターとか作る会社。それが香織の会社であり、この富士見町の誇り、富士見重化学工業。

響子

…。

雄大

それで、優秀な成績を収めていた香織に白羽の矢が立って、日本初のロケット設計士として、担当したんだよ。

響子

すごい！

百合

携帯メール打っても、全然返してくんなかったもんね。

香織

ごめん。超忙しくて。

雄大

それで、ここから面白い話。今日打ち上げられる人工衛星は、有人宇宙探査機への布石って言われているの。有人宇宙探査機？

響子

うん。つまりこの打ち上げに成功したら、人間が乗ったロケットの製造を日本の宇宙開発も乗り出そうとしてる。アポロ11号って聞いたことあるでしょ？19

69年7月16日、人類が初めて月に降り立った、アメリカが作ったロケット。でも、それから色々あって、世界的にも有人宇宙探査機は作られなかった。

遥 私のお母さん、さすが！

百愛 私のお母さん、幸薄そう！

虎鳳輝 俺、お母さんのおなかの中！？

百愛 お母さんの若い頃って、写真で見たことあったけど、リアルに見ると、なんか引く。

陸斗 わかる。

4人、物置から出てきて。

陸斗 やっぱりここは、2002年7月。

3人 …。

陸斗 俺たち、本当に過去に来てしまったみたいだな。

虎鳳輝 信じたくないんだけど。

3人 …。

百愛 何でここに來たんだろ。

3人 …。

百愛 この町には、ロケット開発が盛んだったって聞いたことある。まあ、今も一応あるにはあるけど。

虎鳳輝 そう！一応あるんだよ！遥は、おばさんと同じように、ロケット製造に携わりたいてって理系の大学行ってる。

遥 …。

虎鳳輝 でも、全然ぱつとしないし、何て言うの？…しよぼくない？

3人 …。

虎鳳輝 お父さんとお母さんの時代の人たちがもつと頑張ってくれてたら、俺たちだってこの町に生まれたことを誇らしく思えたかもしれないよな。

百愛 だから、そういう言い方しなくてもいいでしょ！遥に

も悪いじゃん！

虎鳳輝 だってそうじゃん！

陸斗 喧嘩してる場合じゃないだろ！

百愛 …。

虎鳳輝 …。

百愛 何でこの日に？

3人 …。

百愛 ロケット開発が、何か関係があるってこと？それか、遥が生まれた月って言うのと、何か関係があるとか。どうなんだろ。

遥

陸斗、気配を感じて。

陸斗 ……（物置を指さして）

3人 ……

4人、物置に隠れる。

桜が登場。電話をかける。

桜 もしもし。2丁目の宮本です。大至急、タクシー1台お願いします。

桜、電話を切る。

桜 大丈夫だからね。大丈夫だから。

桜、退場。リンリン。

虎鳳輝 誰？

陸斗 さあ。

遥 もしかしたら、私、生まれたのかも。もしそうなら、今日は2002年7月24日。

虎鳳輝 え？

百愛 でも今の、遥のお母さんじゃない？

遥 だからそれは、あれだよ。私、お母さんの子じゃないから。

陸斗 え？

百愛 え？

虎鳳輝 え？

陸斗 お母さんの子じゃ、ない？

遥 うん。

陸斗 そうなの？

遥 うん。私の本当のお母さん、私が生まれてすぐに病気で死んだんだって。

陸斗 ……そうなんだ。ごめん、俺、知らなかったから。

遥 別に。しょうがないじゃん。そんなこと言っちゃって。そうだけど。

陸斗 ……

3人 私が生まれた日と同じ日に起こったのは、あれだよ。

遥 この町の運命を変える…。

百愛 この町と、お母さんの運命を変える…。

百愛 運命？

リンリン。4人、見る。

第3場

陸斗 (物置を指さして) !!

3人 ……

4人、再び物置に隠れる。

音楽。香織、遠野、友永が登場。

百合、純子、響子が登場。荒金が登場。

全員でダンスを踊る。

踊り終わると音楽が落ちていく。

荒金 荒金良子です。

香織 宮本香織です。

荒金 このたびはありがとうございます。

香織 いえ。

荒金 宮本さんがこの町に残した功績は、あまりにも大きい。

…私が町長になって3年。こんな小さな町がロケット開発の町として知られるようになったのは、宮本さんのような、優秀な設計士がこの町に生まれてくださったからです。

香織 いえ。

荒金 皆さんも。この町に多くの観光客の方がやって来てくださるのは、この富士見町がロケット開発の町であることを、PRしてくださっているからです。本当にありがとうございます。

雄大

荒金 富士見町の発展に貢献してくださってありがとうございます！
います。…今日という日に、感謝いたします！

荒金、拍手をする。

遠野 じゃあ、早速。

香織 うん。

純子 どうやってみるんですか？

遠野 インターネットです。

純子 インターネット、あ、なんだっけ、最近流行りの、通

信速度、めっちゃ早いやつ。

響子 ADSL。

純子 ADSL！

遠野と友永が支度をする。

百愛が顔を出す。

百愛 わかった。これってさ。

陸斗、顔を出して。

陸斗 し！

陸斗・百愛が再び隠れる。

友永 (映った様子) おお！

荒金 素晴らしいです！

友永 あと何分ですか？

遠野 あと1分30秒。
友永 間に合った。…あ！高橋さんと岡田さん！山岡さんと

田上さんも！

遠野 みんな働いてるね。

友永 アハハハハハハ！

遠野 友永くん。

友永 アハハハハハハ！

遠野 友永くん。はしやぎすぎ。

友永 はしやぎたくもなりますよ！だって！僕たちが、命を

かけて開発してきたんですから！ねえ、宮本さん！

香織 (微笑んで) …。

遠野 もうちよっと、緊張感を持って。

友永 わかってますよ。

遠野 (時計を見て) そろそろです。…あと15秒。

荒金 ドキドキしますね。

友永 僕も、ドキドキしてます。

荒金 うん。

遠野 10秒前。…5、4。

全員 3、2、1。

人工衛星が発射される音。

友永 やったー！

全員、喜びあう。遠野が何かに気づいて。

遠野 なんか、様子がおかしくありませんか？

友永 え？

荒金 え？

大きな爆発音。人工衛星は墜落した模様。
全員の表情が凍る。

声 緊急速報です。本日、午後6時15分、鹿児島市西之

表市にあります、ナスダ、宇宙開発事業団、種子島宇宙センターから打ち上げられました人工衛星つばめは、打ち上げ直後に失速。東シナ海、大隅諸島黒島の西、約15キロメートル付近に墜落した模様。繰り返しします。本日、午後6時15分、鹿児島市西之表市にあり、ナスダ、宇宙開発事業団、種子島宇宙センターから打ち上げられました人工衛星つばめは、打ち上げ直後に失速。東シナ海、大隅諸島黒島の西、約15キロメートル付近に墜落した模様。政府は、ナスダに対して、急いで事実関係を説明するよう命じた模様。

声の中、舞台上のキャラクターは全員退場。

第4場

4人、顔を出す。

陸斗 聞いたことあった。これで、この町からロケット開発がなくなっていくんだよね。
遥 私の本当のお母さんは、これで心労が重なって、死んじゃったんだって。

3人 …。

陸斗 何で、言ってくれなかったの。

遥 だから、言ったってしょうがないじゃん。みんなに変な氣、遣わせたくなかったし。

陸斗 …。

遥 それに、私はそういう生まれだからって、悲しいと思っただけ。一回もない。ああ、そうなんだって感じ。お父さんもお母さんもちゃんというし。

3人 …。

4人、様子をうかがって、物置から出てくる。

陸斗 なんでこんなところに来ちゃったんだろう。

3人 …。

陸斗 どうしちゃったんだろう。

百愛 でも。今の出来事を見て、成功してたらどうなってたんだろうって思っちゃった。

3人 …。

百愛 遥のその…今のお母さんが、ロケットを作り続けてたから、って。

3人 …。

百愛 富士見町は、どんどん過疎化が進んでいる。高齢化社会。東京への人の流出。…昔、ロケット開発が盛り上

がっていた頃は、観光の町として栄えてたって聞く。私の家もお土産物屋だし。陸斗のとも民宿だし。でも、今の富士見町だと、私たちが後を継いだところで、廃業が目に見えてる。だからもし、この人工衛星の打ち上げ成功していたら。

3人 …。
百愛 でもなあ。そんなこと言っても仕方ないしなあ。過去に何かを期待したって、何も生まれない。…私はこの町が好きだから、何とかしたいっていつも思ってるけど…なんかなあ。

陸斗 遥の本当のお母さんも、もしかしたら、生きてたかも。…。

虎鳳輝 ちよつとちよつとちよつとちよつと！3人とも、大切なこと、忘れてない？

3人 ？

虎鳳輝 俺たち、どうやってここに来たの？どうしてこんな過去に来ちゃったのか、その解決の方が先でしょ？

陸斗 そう、だね。

虎鳳輝 感傷に浸るのは勝手だけど、帰る方法を探さない！
陸斗 そうだね。ごめんごめん。

百愛 私たち、帰れんの？

3人 …。

百愛 帰れなかったら、どうするの？

遥 この時代の住人として生きていく？

百愛 ええ？

遥 でも、それしか思いつかないよね。

虎鳳輝 嫌だよ、そんなの！

すると、美優姫が登場。

美優姫 あはははははは！あははははははは！

4人 ？

美優姫 そんなに難しく考えないでよ。あなたたちはすぐに帰

れる。まあ、下手なことしなければの話だけど。誰？

3人 （首をかしげて）…。

美優姫 いかででした？2002年7月24日。富士見町にあって大きな転換点となった、人工衛星打ち上げの失敗。22年前の、お父さんお母さんの世代が、戦ってますね。フフフフ！

陸斗 あのだ！

美優姫 はい。

陸斗 どなたですか？

美優姫 フフフフ。

陸斗 お父さんお母さんの世代？…ってことは、（指して）2024年の人？

美優姫 もうちよつと待っててよ。すぐにわかるから。

陸斗

もしそうだとしたら…俺たち、カフェで話したら、突然こんな過去に来ちゃったんです。俺たちどうしちゃったんですか？

美優姫 フフフフ。

陸斗 何か知ってることがあったら、教えてくれませんか？

美優姫 すぐにわかる。

虎鳳輝 この子…どこかで見たことない？

3人 ？

虎鳳輝 ほら。最近、たまにテレビ出てる。

陸斗 テレビ？

虎鳳輝 そう。バラエティとかCMとか。俺、インスタも見たことあるかもしれない。

美優姫 フフフフ。

百愛 あ！…濱田美優姫。…あの、なんだっけ。元財務大臣

の、濱田卓三の娘の！
ああ、あの、政治家の2世タレント！
そう！

あの、肩の塗り薬のCMで、たまには肩もんであげて
よってお父さんとお母さんに言われるけど、絶対やら
ない娘役の子でしょ？

美優姫
(まんざらでもない) フフフフ。

虎鳳輝
お弁当屋さんのCMで、お母さんが作ったお弁当、全
部食べちゃう娘役の子！

美優姫
(まんざらでもない) フフフフ。

百愛
濱田美優姫ちゃん、ですよ？

美優姫
(嬉しそうに) どうか？

陸斗
ってことは、(指して) 2024年からやってきたって
事ですよ？ってことは、どうして私たちがこんなと

ころに来たのか、何か知ってるんじゃないですか？

美優姫
まあまあ。そんなに結論焦らないですよ。

そこに渚が登場。

渚
お姉ちゃん！

陸斗
あれ？

百愛
あれ？

陸斗
渚ちゃん？

百愛
なんで？

渚、5人に近寄る。

遥
渚？なんで？

渚
私だってわかんないよ。まさか、こんなところに来る
なんて、思ってたんだから。

美優姫
フフフフ。

渚
でも、すべての意味が分かった。お姉ちゃん。私は今、
お姉ちゃんに、感謝と尊敬の思いでいっぱい。

遥
え？

渚
心の整理はできた。私は今日、お姉ちゃんと…ちゃん
とさよならでき…

美優姫
ああああああ！

美優姫、渚を端に連れて行って。

美優姫
何してくれてんの！

渚
ごめんなさい。

美優姫
全部終わるまで余計なこと話さないって言ったでし
よ！

渚
ごめんなさい。もうしません。(口チャックポーズ)

陸斗
どうしたの？

美優姫
(咳払い) ここからは、渚さんにも加わっていただき
ます。仲良くしてあげてよね。

渚
よろしく願いします。

陸斗
え？

百愛
なんで？

美優姫
加わるんです。皆さんと一緒に。

陸斗
なんで？

百愛
なんで渚ちゃんが？

美優姫
ああああああ！

4人
…。

美優姫 そんなことより。…なんで3人、来ちゃうの？私は遥

さんと、渚さんだけ連れてくるつもりだったんだけど。

遥 え？

美優姫 あなた！

陸斗 え？

美優姫 あなた！

百愛 え？

美優姫 きみ！

虎鳳輝 きみ？きみ？

美優姫 なんで、いんの？何、一緒に来ちゃってんの？

虎鳳輝 そんなこと、言われましても。

美優姫 なんで、そんなラッキーなの？なんか、ものすごい腹立つんですけど。

虎鳳輝 ラッキー？全然ラッキーじゃないんですけど。

美優姫 戻ったら、おいしいお寿司連れていってよね。面白体

験させてあげたんだから。あと、中華とフレンチも。

赤坂に、一般人じゃ絶対食べられない中華の名店があるから。

陸斗 感じ悪いね。

百愛 うん。

陸斗 CM通りの性格だね。

百愛 うん。たぶん、好感度悪いから、すぐにテレビから消えると思う。

美優姫 今なんて言った！？

陸斗 はい！

百愛 はい！

美優姫 聞こえたよ、今の。それさ、私、すごい気にしてんだよね。絶対聞きたくない言葉なんだよね。だから、

言ったやつ顔、完璧に覚えちゃうんだよね。絶対、

忘れないんだよね。

怖い怖い怖い怖い。

百愛 俺、今、学習した。余計なこと言うのやめよ。全部、

イエスで返そう。

渚 そうだね。そうしょ。

百愛 この子、マジで怖いよ。私、何回も殴られそうになっ

陸斗 たから。

遥 マジで？

美優姫 ああ！

遥 はい。

美優姫 さっき、私と渚だけ連れてくるつもりだったって、言

遥 いませんでした？

美優姫 （ジャンプしてのけぞる）…。

遥 てことは、あなたが私たちをここに連れて来たってこ

とですか？

美優姫 （口チャック）…。

遥 どういうことですか？私たち、どうして、どうやって

美優姫 ここに来たんですか？

遥 渚、手袋を配る。

4人 ？

美優姫 物を動かさない。持って帰らない。触る時は手袋を着

4人 用する。

4人 …。

美優姫 過去の人に話しかけない。関わらない。2024年が

どんな世界になっているか、絶対に言っちゃダメ。過去が変わるってことは、私たちの現代が変わるってこと。その意味、分かるよね？

4人

…。

美優姫 姿を見られても、多少大丈夫。人は見たものの70%は忘れる。でも、余計なトラブルが起こさない。そのルールを守るって約束で、この先の世界を見せてあげる。

陸斗

え？

渚

見るの。この先の世界を。それがお姉ちゃんのため。

美優姫

ああ！

渚

(口チャック) …。

美優姫、リモコンを取り出す。

美優姫

行きますよ。

陸斗

行きますって、どこに？

美優姫

ゴー！

美優姫、スイッチを押す。

再び、時空がねじれる音。

5人

(口々に) うわ！

5人、体をねじらせて。

陸斗

これ、なんですか！

美優姫 今話しかけないで！ミスると大変なことになるから！

美優姫も体をねじらせながら。

美優姫 ここ！

急速に時空が収まっていく音。パーン。

5人、放り出されるように、倒れ込む。

美優姫

2002年。7月31日。人工衛星つばめの打ち上げ失敗から一週間後。

4人

…。

美優姫 さっきの場所、正解。あそこから隠れて見てて。この日、誰も行かないから。

美優姫、5人に詰め寄って。

美優姫

完璧に隠れるんだからね。絶対見つかったらダメなんだからね。

5人

…。

美優姫、退場していく。

渚

行こう。

4人

…。

陸斗、何となく物置を指して、向かう。

4人ついていく。

第5場

雄大、登場し、ラジオを取り出してスイッチを入れ、新聞を読み始める。

ラジオの声 12時になりました。お昼のニュースをお伝えします。7月24日、ナスダ、宇宙開発事業団、種子島宇宙センターから打ち上げられました人工衛星つばめの墜落事故から一週間となりましたが、

政府は、世間の関心の高まりを受けまして、休日を上返して、本日午前より、昨日に引き続きまして対応協議を行っている模様です。また午前11時より、文部科学大臣、田島浩一郎氏と富士見重化学工業社長、金子真一氏が会談。事故の責任の所在を焦点に置いて、現在も会談は続いている模様です。

電話が鳴る。

雄大
…。

雄大、電話を取る。

雄大 はい。喫茶ふじみです。はい。そうです。うちの妹ですが、それが何か？…（適当に）はい。そうです。反省しております。…申し訳ありませんでした。はい。

はい。

電話切れる。

雄大
…。

雄大、座ろうとすると、また電話がかかってくる。

雄大
…。

雄大、電話を取る。

雄大

はい。喫茶ふじみ…。はい、そうです。うちの妹…。はい。そうです反省…申し訳ありません…申し訳…うるさいよ！電話かけてくんなよ！お前、誰だよ！この野郎！

雄大、切る。

雄大
はあ。

リンリン。百合が登場。

百合
ちよつとちよつとちよつとちよつと。

雄大
…。

百合 この報道陣の数、どうなってんの？

雄大
…。

百合 宮本さんのお知り合いですか？とか、めっちゃ声かけ

雄大
百合
雄大
百合
雄大
百合

られるんだけど。
ずっとこの調子だよ。

お知り合いなら、一言伺ってもよろしいでしょうかだ
って。写真もパシャパシャ撮られてさ。

雄大
百合

お前も身の安全、考えた方がいいよ。何されるかわか
んない。ほとぼりがさめるまでうちに来ない方がいい。
でも、いてもたってもいられなくてさ！

リンリン。純子と響子が登場。

純子
響子
純子

（はあはあ言って）…響子、大丈夫？
うん。でも、ちょっと、ストレス発散。
？

響子、入り口付近に向かって。

響子
3人

何なんだよ、この野郎！お腹に子供いるつつうの！こ
の子に何かあったらどうしてくれんだよ！
…。

響子

大丈夫。

純子

…うん。

雄大

無理して来なくていい。

純子

だって、香織のこと、考えたら！

響子

（何回もうなづいて）…。

純子

ワイドショー見てても、責任の所在は富士見重化学工
業とか、香織とか。もう、むかむか来ちゃって。

響子

最初、政府に批判が集中してたのに、最近、香織の会
社と香織ばっかりになってない？

純子
響子
雄大

そう！ずるいの！
なんか、変だよな？
政府が批判の矛先をこっちに向けてんだよ。新聞社と
かテレビ局使って。

純子

（指して）新聞もひどいよね！

百合

何々？どんなこと、書いてあんの？

雄大

（新聞を渡して、指して）…。

百合

読者投稿。

3人

…。

百合

日本初の有人宇宙探査機、夢とロマンがあるが、富士
見重化学工業には荷が重すぎた。40代男性。

3人

…。

百合

北海道拓殖銀行、山一証券の倒産、景気が著しく後退
する中、失敗した会社の責任は重い。30代男性。

3人

…。

百合

9・11のアメリカへの支援やテロ対策に力を注がな
いといけない中、宇宙開発に莫大な血税を使っていた
と考えると、腹立たしい思いでいっぱいになる。失敗
した会社には、それ相応の責任をとっていただくべき
であり、責任者である宮本香織氏には…。

雄大、新聞を奪って。

雄大

ああ！…どうせこんなの、記者が書いてんだよ。暗ー
い部屋で、悪い顔して。

ドンドンドンドン！ノックする音。

百合 …。

百合が見に行く。リンリン。(一旦退場)
百合「わ!」。百合、戻ってきて。

百合 お兄さん。

雄大 何。

百合 報道陣。もう、中、入ってくる勢い。
雄大 はあ?

雄大、一旦退場。リンリン。

雄大、戻ってきて。

雄大 もういい! わかった! お店は無期限休業! こんな中で

営業できない!

百合 いいの?

雄大 いい!

雄大、カウンターで素早く何か書く。一旦退場。
リンリン。戻ってきて、少し落ち着く。

百合 いつまで続くんだろうね。

3人 …。

百合 どうなっちゃうんだろうね。一週間、ずっとこの調子だし。

3人 …。

百合 いつになったら、元の生活に戻れるんだろう。
3人 …。

純子 私は、やっぱり香織のことを考えてあげたい。
3人 …。

純子

今一番つらいのは、香織。私たちが支えてあげないと。
私もそう思う。私たちにできることがあったらやりた

響子 い。

百合

そうだね。とにかく、私たちは香織のことを最優先で
考えてあげよ。私たちは、友達なんだから。

純子

(うなづいて) …。
(うなづいて) …。

百合

お兄さん。何かできることがあったら言って。
何でもする。

純子

うん。
ありがと。

雄大

…。(奥を指して) いるんでしょ?
…。

百合

雄大、一旦退場。
香織が登場。雄大も戻ってくる。

香織

ごめんね、迷惑かけて。
うううん。

純子

私のせいだよね。
うううん。香織は悪くない。

香織

香織、ご飯食べてる? 何か作ってあげようか?
大丈夫。ありがと。

百合

香織。
?

百合

(回る) …。(回る) …。…テンション…(回る) 上が

香織 ってこない？
百合 ありがと。

雄大 ……
雄大 気にしなくていいよ。

香織 ……
雄大 有人宇宙探査機なんて、元々ないものなんだから。

香織 ……
雄大 失敗して当然だよ。気にすることない。それに、こんな騒ぎ、ほっといたら収まる。そしたら、また胸張って会社行けるようになる。

純子 私もそう思う。新聞もニュースも、面白がってるだけ。来週になったら、もういないって。

響子 香織、元氣出して。

香織 もう、この話やめよ。みんなもしんどいでしょ？

4人 ……

香織 そんなことより…みんなに紹介したい人がいるんだ。紹介したい人？

香織 うん。

雄大 いいの？

香織 うん。

百合 誰？

香織 ……

香織退場し、奥から遥を抱いた桜を連れて登場。

3人 ……

香織 桜。私の妹。

純子 妹？

桜 はじめまして。

3人 (口々に)はじめまして。

香織 あ、本当の妹じゃないよ？心の妹。居候してんの。

百合 居候？

香織 意気投合しちゃってさ。

百合 意気投合？

桜 よろしくお願いします。

3人 (口々に)よろしくお願いします。

香織 子供が生まれたの。ね？

桜 遥って言います。

香織 みんなも仲良くしてあげて？

百合 (顔を見合わせて) ……

4人 もちろん！

3人、カウンターに寄って。

百合 なんでまた居候を？

桜 いや…。

香織 春ぐらい？すごい荷物持って、店の前に立ってたの。

百合 そこからだよね？

桜 ……(うなづいて)。

3人 (口々に)へえ。

香織 お腹ふくらんで、妊娠してるんじゃないですか？

て聞いたら、助けてくださいって、泣き出して。

桜 ……

妊娠してる人に助けてくださいって言われたら、助け

ないわけにはいかないでしょ？だから、中に入りなっ

て言ったの。

3人

(口々に) へえ。

香織

それで、色々聞いてたら、東京から来たって言ってて。東京。

百合

それで、彼氏との子供が出来ちゃったけど、認知してもらえないかもって、また泣き出して。

百合

おお、デ IPP。でも、そんな話、好き！
ちよつと黙って。

純子

出産して、認知してもらって、彼氏に子供を抱っこしてほしんだって。

3人

(口々に) おお。

響子

なんで認知してくれないんですか？

香織

それは教えてくれないんだよなあ。何回聞いても言ってくれないんだよなあ。

桜

…。

香織

だから、言いたくないことは言わないってことにしてて、そこから先を聞くのは、なしにしてあげて？

3人

(口々に) ああ。

純子

なんでまた、ここに？

桜

何のあてもなく、東京から電車乗ったり降りたり繰り返してて、気が付いたらこの町にいて、それで適当に歩いてたら、看板が目に入って…。

百合

看板？

桜

宇宙は、人が遠くを目指すためにある。その言葉、素敵だなんて思ってた、ぼーっと見てたら、香織さんが声をかけてくれたんです。

百合

ああ、あれ。

桜

私、小さい頃に両親と生き別れになりまして、兄弟もいなくて、ずっと一人で生きてきたから、遠くって響

3人

きが、なんかいいなあって思ったんです。
(口々に) へえ。

香織

この町は、ロケット開発の町なんだよ。だから、一緒に遠くへ行こうって言って、意気投合して、出産費用出してあげたの。

3人

(口々に) ええ！

桜

本当に、香織さんには感謝しています。

香織

お兄ちゃんにも、ちよつとお金出してもらって。

雄大

賑やかになるのは、いいことじゃん。

3人

(口々に) へえ。

香織

彼氏に認知してもらって、遥ちゃんと3人で元の生活に戻るの、桜の遠く。だから、ほとぼりが冷めたら、一緒に東京行くの。その時は、みんなの力も借りるからね。

純子

もちろん！私にできることがあったら、何でも言っ

響子

私も、力になります！

百合

私たちは、友達。

桜

…。

百合

もし、それでも認知してくれなかったら、私たちがぶつとばしてあげるよ。お前、何考えてんだよ、つって。

響子

暴力はやだ。

百合

冗談。…(突然)…う。

響子

どうしたの？

百合

なんでもない。…桜さん。よろしくね。

桜

よろしくお願いします。

百合

遥ちゃん、でしたっけ？

桜

はい。

百合

かわいい！…(ほつぺたを押して) ちゃん…かわいい！

純子 笑ってる。
響子 うわあ。…私の子も、同じぐらいかわいい子が生まれ
てきてくれたら嬉しいな。
4人 (笑いあう) …。
響子 香織も。
香織 (遥をあやすように) %\$%\$%\$%\$!
響子 今日、香織が笑った顔、初めて見た気がする。
純子 本当。

全員笑うと、バタン！大きな音。5人、見る。
百合が見に行く。リンリン
百合「わーちよつとやめてください」の声。
すぐ戻ってきて。

百合 さつきより増えてる。
雄大 ええ？
百合 もう何も見えない。私、ちよつと、ひっかかれたんだ
けど。
雄大 なにい！？

バタン！再び大きな音。
雄大 もう無理。(と箒をもって) …われこら—————！

雄大、退場。

純子 ヤバい。お兄さん、あれ、なんだっけ、最近高校生と
かがよく言ってる…。

百合 キレル！
純子 キレル！…ちよつと、行こう！
百合 行こう！響子は待ってて！
響子 いーや！…私も行く。
百合 え？
響子 私も行く！許せない！
百合 じゃ、行こう！…桜さん、お留守番、お願い！
桜 わかりました。

百合、純子、響子、退場していく。

香織 ごめんね。心配かけちゃって。
うううん。

香織 大丈夫だから。(と退場しようとして)。

香織 香織さん。

…。

香織 本当に感謝してます。

…。

香織 香織さんがこの家に置いてくれなかったら、私どうな
ってたか。

…。

香織 だから、今度は私が心配する番だと思ってます。

香織 桜は、遥ちゃんと自分の体の事だけ、考えてればいい。

まだ、遥ちゃん、産んですぐなんだから。

…。

桜

香織、退場していく。

桜
…。

桜、退場していく。
5人、顔を出す。

陸斗
遥
やっぱりあれが、遥の本当のお母さん。
うん。

遥、桜が退場した方向に向かって微妙に一步出る。

遥 渚 遥
…。
お姉ちゃん。
こうやって初めて本当のお母さんを見るっていうのは
…しようがないけど…（涙を抑える）。

渚 3人
…。

リンリン。

渚 4人
…。
…！！（指す）

5人。隠れる。
桜が遥を抱いて、様子を伺いながら顔を出す。
濱田弥生が登場する。

弥生 桜
失礼。
…。

桜、引き返す。

弥生
ちよつとあなた！

桜、立ち止まる。

弥生 桜
どこかで、お会いしませんでした？
人違いです。

桜、退場。
リンリン。荒金が登場。

荒金 弥生
どうか、されました？
いえ。

荒金、中を覗き込んで。

荒金
ちよつと！どなたかいらっしゃいません？
リンリン。雄大が戻ってくる。

雄大 荒金
荒金さん。
どうも。

リンリン。百合、純子、響子も戻ってくる。

雄大
どうかされたんですか？

荒金 宮本さん、いらつしやいますよね？
雄大 ええ。

荒金 お願ひできますか？

雄大 少々お待ちください。

荒金 みなさんも、ちよつと外していただいてもよろしいでしょうか。

3人 (口々に) はい。

雄大、一旦退場。

百合、純子、響子、奥へ退場。

弥生 本当、やってらんないわね。政治家の妻って本当大変。

雑誌を出して。

弥生 あの事故がなかったら、こんな記事出なかったのよ。

週刊誌のやつ、面白がってこんなの書きやがって。どんな権力を使って潰してやろうかしら。

荒金 (苦笑いして) …。

香織が登場する。

荒金 宮本さん。すみません、突然お邪魔して。

香織 いえ。…こちらは。

弥生、立ち上がって。

弥生 濱田弥生と申します。この度はお世話になっておりま

香織 す。
…!!

香織、土下座をして。

香織 このたびは、申し訳ございませんでした！

弥生 …。

香織 私のせいで、ご迷惑をおかけしております。本当に、申し訳ございません。

弥生 大変なこととしてくださいましたわね。霞が関はてんやわんやですわ。

香織 申し訳ございません。

弥生 事故の対応、責任の所在。負債の配分。…まあ、うちの人は財務省の人間ですから渦中ではないですけど、

文部科学省は大変ですわね。

…。

弥生 来年選挙がありますしね。うちも痛手を被らないよう、火消しが大変ですわ。

香織 申し訳ございません。

弥生 それに。

弥生、週刊誌を指して。

弥生 こんなのが出ちゃいましたね。あなたが失敗してくださるから。お読みにになりました？財務省、政務次官不

倫か。

香織 …。

弥生 とんだとばっちりですわ。選挙に影響があったら、ど

うしてくださるのかしら。

…。

それに、旦那の不倫記事が出て、心中穏やかでいられるはずありませんわよね？事実かどうかは置いて…まあ大体わかっておりますけども…（怒りで震えて）…怒りが収まりませんのよね！

…。

（怒りを鎮めて）それで…伝言をお伝えに参りました。伝言。

宮本さん。わかってると思いますが、もうロケットの設計には携われないと思っておいってくださいね。

…。

当然ですわよね？あなただけじゃない。この町の、富士見重化学工業は、二度とロケット製造には携われません。そのことは心に留めておいってくださいね。

…。

…。

当然ですわよね？日本初の有人宇宙探査機の布石となるはずのロケット打ち上げを失敗してしまったんだもの。誰かが責任を取らないと、こんな騒ぎ、収まるわけないですわ。

…。

それだけじゃないですわ。富士見重化学工業は、最悪の場合、（大きな声で）倒産ということもなきにしもあらずということです。なぜなら、あなたが失敗しなければ、こんなことは起こらなかった。

…。

これは、全てあなたの責任。これが、旦那と、周りの

香織

弥生

官僚の考えでございます。それをお伝えに参ったの。

…。

ただ今協議を行っております。私も今から御社にお伺いします。どんな結果になろうと、文句言わないでくださいませね。（週刊誌を取って）このせいで、私も気がたっておりますのでね！

…。

（荒金に）…行きましょう。

…はい。

荒金さん。あなたの立場も苦しいわね。もし、この会社が無くなったら、この町はもうおしまいですわね。

…。

荒金

弥生

香織

弥生

弥生、退場しようとする。

あの！

（立ち止まって）？

会社だけは、残していただけないでしょうか？

…。

うちの会社がなくなれば、この富士見町は、未来を失います。私の友人も、子供が生まれて、これから育てていかなくてはいけません。この町から宇宙開発がなくなる。それだけは、絶対に避けなければと思っています。…すべての責任は、私がとります！会社だけは残していただけないでしょうか！

…。

それに、もしそれが実現するとしたら、東京湾にでも

香織 沈まない限り、難しいんじゃないかしら。
…。

弥生、退場。リンリン。

荒金 宮本さん。また、後程。

香織 よろしくお願いします。お見送ります。

荒金 おきづかいなく。

香織 いえ。

荒金、香織退場。リンリン。

桜が登場。（話を聞いていた様子）

桜 …。

リンリン。香織戻ってくる。

香織 どうしたの？

桜 いえ。

桜、退場。

香織 …。

香織、退場。

遥・陸斗・百愛・虎鳳輝・渚、顔を出して。

陸斗 こんなこと、あったんだね。

遥 …。

陸斗 聞いたことあった？

遥 いや…。

虎鳳輝 今の人、濱田って言ってなかった？

百愛 言ってたかな？

虎鳳輝 濱田美優姫。同じ濱田だけど。

百愛 …。

虎鳳輝 なんか関係あんのかな？選挙がどうのこうのって言うてたけど。

百愛 どうなんだろ。

陸斗 渚ちゃん。どうしたの？

渚 お母さん。

渚、隠れる。4人も隠れる。

第6場

14時頃。

奥より、雄大が登場。百合、純子、響子が登場。

入口より、香織と荒金が登場し、香織は荒金をエスコート。

続いて、遠野と友永が登場。全員、位置につく。

友永 こんなのおかしいですよ！

全員 …。

友永 絶対におかしい！納得できません！うちの会社がなくなるなんて！

全員 …。

友永 おかしいと思いませんか？だって、あの事故は僕たちの責任じゃない！

香織 友永さん。会社がなくなるなんて誰に聞いたんですか？

友永 噂です。

香織 噂？

友永 社内で、みんな言ってます。

香織 噂を簡単に信じてはいけません。

友永 わかってますよ、そんなこと！でも、だから僕は、宮本さんに確認しにきたんです。…今、どうなってるんですか？僕たちはどうなるんですか？何か知ってることがあったら教えてくださいよ！

香織 …。

友永 もう！

全員 …。

友永 宮本さんが書いた設計図に間違いはなかった。組み立ての工程にもミスはなかった。そもそも、ナスダから送られてきた大元の設計図にミスがあった。なのに、政府はその事実を隠蔽して、うちの会社の責任にして、すべてを終わらせようとしている。こんなの納得できるわけじゃないんですか！

全員 …。

友永 ある程度の非難を受けるのはわかります。確かに、あの人工衛星は、僕たちの手で組み立てた。でも！僕たちだけが責任をとるような収め方は、絶対に納得出来ない！

遠野 仕方ないじゃん。政府は批判を抑えたいんだから。それで、僕たちが犠牲になれっていうんですか？それ

遠野 …。

友永 僕たちは、はめられたんです。

全員 …。

友永 もともと政府には、有人宇宙探査機を作る気はなかった。なぜなら、宇宙開発で世界を席巻するアメリカと、競争したくないから。もしかしたら、強い脅しがあったのかもしれない。だから、僕たちはわざと失敗させられたんです。

遠野 そんなこと、大きな声で言わないで。

友永 だってそうじゃないですか！遠野さんも薄々気づいてたでしょ？なんでうちみたいな小さな会社に、こんな大仕事が回ってきたのか。うちよりも大きな重化学工業は他にもある。なのに、日本初の有人宇宙探査機の布石となる人工衛星が、こんな小さな町のこんな小さな会社に回ってくるだなんて、そこからおかしかったんですよ。

遠野 …。

友永 僕たちは被害者です！違いますか！？

遠野 じゃあ、友永くんはどうすればいいと思うの？

友永 テレビ局を呼んで、すべてを話しましょう。そして、今回の事故の裏側を、世間の人に知ってもらいましょう。そうすれば、うちの会社が潰されるというのはおかしいと納得してもらえる。

遠野 そんなことしたら、本当に潰されてしまう。

友永 じゃあ、このまま指をくわえて待ってろっていうんですか？

遠野 仕方ないじゃない！相手は政府！どうしようもない！

友永 ……

荒金 落ち着きましょう。一回落ち着いて。

全員 ……

荒金 今、協議しています。要は世論です。政府は世論の動きを見て、決定を下そうとしています。無下に、会社に責任を取らせることはない、私は信じます。

全員 ……

荒金 結果は夕方ごろだと思っています。それまで待ちましょう。私たちにできることは、それしかありません。

友永 ……

荒金 待って…待って、会社潰されて、はいさよならって、そんなの悔しいじゃないですか！

荒金 悔しいですよ！私だって！

友永 ……

荒金 この町からロケット開発がなくなるのが、悔しくないわけじゃないじゃないですか！

全員 ……

荒金 すみません。大きな声を出して。

荒金の携帯が鳴った様子。

荒金 はい。荒金です。…どうもご無沙汰しております！…

荒金 はい。はい。…わかりました。

全員 ……

荒金 （携帯を切って）出ます。皆さん。希望は捨てないでください。

全員 ……

荒金、退場。リンリン。

遠野 宮本さん。

香織 ……

遠野 もしかして、辞めちゃうんじゃないですか？

香織 ……

遠野 これ。

雄大 辞表？

遠野が辞表を見せる。

遠野 悪気はなかったんです。事故の3日後、引き出しが開いていて、つい。

香織 ……

遠野 どうしてこんなものが、宮本さんの引き出しに？

香織 ……

遠野 どうしてですか！今回の事は宮本さんの責任じゃないじゃないですか！それなのに、一人で背負い込もうとして！

雄大が遠野から辞表を受け取って、中身を見る。

雄大 ……

遠野 私がここに勤め始めてくれた頃、話してくれたこと、覚えてます。

全員 ……

遠野 何のために宇宙開発があるか、私はこう考える。人は誰も、何かを目指して生きている。やりたいことを見つけたら、大好きなことを見つけたら、その向こう

の、遠くへ行こうとする。たとえ困難はやってきても、その時、宇宙がどんな解明されていれば、人は楽しい未来を信じる事が出来る。人が遠くへ行くことの旗印。宇宙開発は、そのためにある。

…。

宮本さん。やめないでほしいです。やめてしまったら、宮本さんの思いが、なかったことになってしまう！

香織、立ち上がる。

どこへ行くんですか？

会社に行ってきます。

何をしに行くんですか？

状況を確認してきます。

でも、今、外に行ったら…。

大丈夫です。ありがとう。

宮本さん！

宮本さん！

（口を押える）う。

？

ごめんなさい。大事な話してる時に。

どうしたの？

百合、大丈夫？

…。

百合、奥へ行こうとする。

雄大
もしかして…百合、あんた、妊娠してんじゃないの！？

純子 え？
響子 え？
百合 妊娠？

リンリン。荒金が登場。

荒金 連絡が参りました。

全員 …。

この町の、未来が決定したようです。

全員 …。

雄大 なんて？

荒金 今回の事故による負債額、富士見重化学工業の負担分、

1800億。

雄大 いっせん、はっぴやくおく。

全員 …。

荒金 これにより、富士見重化学工業の倒産が決定。富士見

町からロケット開発は消滅。この町は…おしまいで

す！

全員 …。

全員、うなだれる。

すると、突然、百愛が出てくる。

百愛 ちよつと待ったああああ！

全員 ？

陸斗、顔を出して。（遥・渚・虎鳳輝も）

陸斗 百愛、ちょっと！

百合 誰？

純子 どなたですか？

百愛 こんな過去、私は望んでない…。

全員 ？。

百愛 富士見町は…私の誇り！！

全員 …。

百愛 この町の未来は…私が変わる！安心して、おばさん。

香織 …お母さん。

純子 え？

（自分に指さして） え？

突然、地鳴りがする。

雄大 何だ？

全員 …。

雄大 何の音だ？

強烈な轟音と揺れ。

全員 （上手に揺れる） うわあ——！

再び、強烈な轟音と揺れ。

全員 （下手に揺れる） うわあ——！

一番強烈な轟音と揺れ。

全員 （大混乱） うわあ——！！うわあ——！！

暗転。

第7場

明転。

リンリン。香織が奥から登場。

香織、様子をうかがっている。

香織 桜！

桜が遥を抱いて登場。

香織 誰もいない。揺れも収まったし、大丈夫。

桜 …。

香織 お兄ちゃん、外の様子、見に行ってくれてる。大丈夫だから。

桜 ありがとうございます。

香織 どうしたの？

桜 胸騒ぎがするんです。

香織 …。

桜 この町はおしまいって言われて、香織さんも大変で。

香織 それでさっきの揺れ。これはきつと、なにかすごいこ

とが起こる予兆なんじゃないか、って思うんです。

桜 は気にしなくていい。

香織 香織さん。